

地域協働学校だより No.1

令和3年4月15日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

この春は桜の見ごろが例年より早く来て、足早に過ぎていきました。すでに1年以上続いている新型コロナウイルスとの戦いにはまだ終わりが見えませんが、季節は確実に移り変わり、子供たちも成長していきます。

地域協働学校の新年度最初のおたよりでは、コロナ禍の中での卒業式と入学式をご紹介させていただきます。感染対策で制限のある中でも、新しい生活に目を輝かせる子供たちの姿がありました。

3月25日 第115回卒業式



令和3年3月25日、満開の桜が咲く暖かい日に令和2年度の卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症により制約の多い中、最上級生として学年別運動会や115周年集会でリーダーシップを発揮してきた1年間の締めくくりにとっても立派な姿を見せてくれました。

感染拡大防止のため卒業式には来賓の列席はなし、保護者は1家庭2名まで、全員マスク着用という対策をとって挙行されました。正装した卒業生たちは私語ひとつなく、指先まで伸びた立ち姿や毅然とした立ち振る舞いを小さいころの姿と重ねつつご覧になるご

家族は感動もひとしおだったのではないのでしょうか。卒業証書授与で壇上に向かう時だけはマスクを外し、席に戻るとまたマスクという流れだったので、壇上では成長した顔をしっかりと見ることができました。

泉崎校長先生は式辞で「艱難(かんなん)汝を玉にす」という言葉を取り上げ、「試練や困難を乗り越えていくことで、人格が磨かれ成長していく。失敗を恐れず立ち向かい、チャレンジを続けていって欲しい。」と卒業生を励ましてくださいました。祝電を掲示したボードには一昨年の夏以来会えない岩手県のお友達からのメッセージもありました。たくさんの人に祝われ、見守られ、6年生は巣立っていきました。ご卒業、おめでとうございます。



4月6日 令和3年度入学式

前日の雨がやみ八重桜の咲くさわやかな朝に、令和3年度の入学式が行われ、72名の新1年生が市谷小学校に入学しました。

新型コロナウイルス感染予防のため、校門での検温と手指の消毒、マスクの着用、換気と時間短縮といった対策がとられていました。以前のような来賓の参列や上級生による歓迎演奏はありませんでしたが、児童たちはのびのびしながらも行儀よく、元気に小学校生活をスタートさせました。

校長先生からは、1)挨拶をしっかりしよう 2)先生やお友達の話をよく聞こう3)わからないことや難しいことも諦めずに取り組もう4)感染予防に気をつけよう、というお話がありました。幼さが残る新1年生たちは、お辞儀の仕方が個性的な子がいたり、振り向いておうちの方を探すような場面もありましたが、校長先生のお話には一つ一つに「はい!」と頼もしい返事をしてくれました。写真撮影の時だけは、おしゃべりしないように気を付けながらマスクをはずし、顔を見せて記念の写真を撮ることができました。

入学式後には保護者向けに PTA の活動が紹介され、児童の安全を守るため学校、PTA、地域が見守っていこうというお話がありました。ご入学おめでとうございます。



市谷小のホームページには地域協働学校のページもあります。地域協働学校だよりのバックナンバーや支援活動の情報も載せていますので、ぜひご覧ください。 http://www.shinjuku.ed.jp/es-ichigaya/kyoudou_main.html

